

20大土第 1046号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

愛知県大府市長 久野 孝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付 国道企第37号において依頼のありました件につき
まして別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

愛知県大府市

①「路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・ 道路の中期計画は、5年とされているが現実には用地取得等の交渉に年月がかかり、5年間で道路築造は難しい。
- ・ まちづくり交付金制度は、市道整備には、有効な制度であり、継続していただきたい。
- ・ これからは維持管理の時代に入っていきますので、道路、橋梁等の維持についての補助金制度を充実していただきたい。

○現状

本市は、名古屋市の東南部に隣接し、知多半島の根幹部に位置しているため、名古屋市、三河、知多地域の交通の結節点となっています。また、愛知健康の森の供用開始および周辺整備、第二東名高速道路の市内通過と大府インターチェンジの供用、中部国際空港（セントレア）の開港等、国県のビッグプロジェクトが実施され、本市をとりまく環境も大きく変容しています。

また、“ものづくり愛知”にあって、本市においても経済活動は活発であり、交通量は多く、抱えている道路問題は非常に多い状況にあります。

本市はまた、市域の中心をJR東海道本線が南北に縦断しているため、それを跨ぐ東西の道路の整備も重要な課題として存在しております。

本市においては、人口減少の時代にあっても、その立地条件の良さから、本市人口はこの先も増加するものと予想しており、道路問題はさらに深刻度を増すものと考えますが、本市の道路事情は、都市計画道路の整備率が56.1%と、近隣市町の中でも低く、道路の整備状況は、その需要に対して遅れていると言わざるを得ない状況であります。

○課題

本市の主要な幹線道路である都市計画道路（瀬戸大府東海線、衣浦西部線、大府東浦線等）や主要道路について、計画的にスピード感を持って整備を推進する必要があります。

本市に寄せられる市民からの要望は、渋滞緩和、歩道設置などが多く、特に、高齢社会を迎えて、歩道の設置等の交通弱者を守るための事業実施は、待ったなしの課題であると認識しております。

また、本市の持つ立地条件のよさを活かし、更なる発展を目指すため、企業誘致を目標とした社会基盤の整備も課題として挙げなければならないと思っております。

これらの現場での課題を克服するためには、結論的にはやはり財源の確保が根本的な課題であると考えます。

②－２ 地域の目指すべき将来像

愛知県大府市

本市の道づくりについては、第４次大府市総合計画、大府市都市計画マスタープラン、都市整備プログラムなどの上位計画に基づいた「大府市第４次道路整備５カ年計画書」（平成１９年度～平成２３年度）において「車から人へ、人から心へ」～車優先から人優先のみちづくりへ、人優先のみちづくりから地域づくりへ～をキャッチフレーズに市民との協働による道路整備を展開しています。

基本方針として「６つのみちづくり」

- ① 安心安全な道づくり
- ② 快適なみちづくり
- ③ 健康のみちづくり
- ④ 活力あるみちづくり
- ⑤ 環境に配慮したみちづくり
- ⑥ 共同のみちづくり

を柱に道路整備を推進しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県大府市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	瀬戸大府東海線、衣浦西部線の供用開始	・ 渋滞緩和 ・ 地域間交流の推進 ・ 地域産業の活性化	